



# どっこいしょ

Dokkoisyo

2017.12.4 (月) 第41号



## 全国学力学習状況調査結果より

... 自分の弱点を知り、繰り返し復習を ...



4月18日(火)に全国で実施された学力学習状況調査の明石市教育委員会の分析結果を先日配布しました。今回は本校の分析結果についてお知らせします。3年生には2学期に個人票を返却していますが、4月からの学習で今の実力がどの程度伸びているのか確かめることが大切です。**自分の弱点を知り、それを克服できているのか振り返ってみよう。**

	国語A	国語B	数学A	数学B
明石市	80	74	69	50
兵庫県	78	72	68	50
全国	77	72	65	48

平均正答率(%)

A: 主として知識に関する問題

B: 主として活用に関する問題

### 【数学科・国語科の分析】より

■数学Aは基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題でした。数学Bはそれを活用できるかどうかをみる問題です。本校・県・全国ともAよりBの正答率に課題があります。

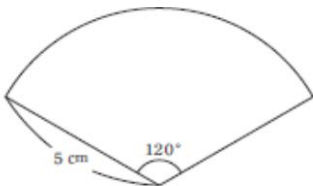
■Aの一元一次方程式や計算のきまりに比べて計算をするような問題はよくできていました。しかし、4などの**主に図形の問題では正答率が低い傾向**にあります。基礎的な計算問題は解けますが、図形問題を解く力に課題があり、今後数多くの問題に挑戦する必要があります。

■この問題は**第1学年の学習内容**ですが、正答率を見ると、県35.6% 全国30.7%と低く、無回答率も20%と高い問題です。

■誤答としては、円の面積を求めたものがあります。**面積や弧の長さが中心角の大きさに比例することはわかっていますが、実際に図を描いて確かめることも大切です。**

3年数学科: 長井先生

(3) 半径が5cm、中心角が120°のおうぎ形の弧の長さを求めなさい。ただし、円周率は $\pi$ とします。



■国語B 1「文学的な文章を読む」での「場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解しているかどうかをみる」という設問では、県・全国の正答率は84.5%で相当数の生徒ができています。本校は80.6%と正答率がやや低め。

■このことから「登場人物の相互関係を整理しながら読むことができているもの」と考えられます。つまり、文章の理解を深める力がやや低いという傾向にあります。しかしながら「表現の仕方について捉え、自分の考えを書くことができるかどうかをみる」という比喩表現を捉える問題では**県・全国の正答率は42.3%だったのに対し、本校では43.9%と県・全国をやや上回る結果でした。**

■本校の生徒は、県・全国に比べて比喩を用いた表現が含まれる文章で「比喩表現」を理解し、感じたことや考えたことを具体的に書くことができる力がやや高いという傾向にあります。

■よく3年生のお子さんから「文章問題はどうかしたら解けるようになりますか?」という質問をうけますが、文章問題解けるようになるにはまず、「文章を読み取る力」を

# 弧

コ  
弓(ゆみ)と音を表す瓜(まるく曲がる意)とからなり、まるく曲がった木ゆみの意味を表す。ひいて、弓の形に曲がったものの意味に用いる。

### PTA講演会

12月5日(火)13:30~  
(受付12:50~)

会場:本校体育館

講師:大棟 耕介 氏

演題「夢の実現に向けて」

■難病の子どもたちに笑顔を届けるホスピタル・クラウンとして、日本を中心に海外でも活動されています。著書

「ホスピタルクラウン」

(サンクチュアリ出版)

「道化師が動いた」

(生産性出版)

養わねばなりません

■「**読書離れ**」といわれている昨今、**自ら進んで読書するような環境づくり**を行うように日頃から文学的な文章を読んで自分のものの見方、考え方を広げ、そして「語彙力」を身につける必要があります。「文章を読む力」はすぐに身につけることはなかなか難しいので、**繰り返し「文章問題」を解き、また「新聞」を活用して「読み取る力」をつけてほしいです。**

3年国語科 今富先生